



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

2023 年度末公開成果報告会

日時:2024 年 3 月 14 日(木) 13:00~16:50 参加自由

場所:南館地下 4 階 ディスタンスラーニング室

参加希望の方は下記お問い合わせ先まで、ご氏名、所属先を明記の上ご連絡下さい。

プログラム

13:00 開会

開会の挨拶:佐藤孝雄(文学部長)

Session I 13:05~14:25

(座長:柏端達也)

● 文化人類学グループ

牛山 美穂(本センター・大妻女子大学)

『対立する価値観のはざままで——アトピー性皮膚炎の事例から』

● 哲学・論理学グループ

鈴木 彩香(本センター・千葉大学)

『場面レベル述語と個体レベル述語が表す時間情報についての言語学的・認知科学的研究』

● 美学美術史学グループ

後藤 文子(文学部) オンライン発表

『ヴィルヘルム・オストヴァルトと園芸用カラーチャート』

● 生物心理学グループ

伊澤栄一(文学部)

『鳥類におけるストレス応答の個体差と雌雄差』

Session III 15:50~16:45

(座長:梅田聡)

● 民族学考古学グループ

山口 徹(文学部)

『旅する<オロ神>の歴史人類学』

● 感性科学グループ

川畑 秀明(文学部) オンデマンド発表

『ココロとモノの共創過程:感性科学の新しい視座』

● 認知神経科学グループ

品川 和志(本センター)

『マインドワンダリングの気付きのプロセスにおける内受容感覚の役割』

閉会の挨拶 皆川泰代(文学部・本センター長)

16:50 閉会

Session II 14:40~15:35

(座長:藤澤啓子)

● 発達科学グループ

北 洋輔(文学部)

『発達性協調運動症の脳機能』

● 遺伝と教育グループ

安藤 寿康(文学部)

『教示行動の遺伝と進化(教示欲求の二因子説)』

● 社会心理学グループ

平石 界(文学部) オンデマンド発表

『社会心理学の一般化可能性問題を整理する』

※発表順は変更の可能性があります。
プログラムの最新情報はセンターHPを
ご覧ください



主催:慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)

お問い合わせ先:本報告会事務局 (e-mail: grcls.contact-group@keio.jp)

Global Research Centre for
Logic and Sensibility